

地域からのニュースと提言

青森
発

社員の「喫煙ゼロ」達成 健康経営、取り組み14年

【報告 津軽警備保障】



オンライン講演する山口社長(右)、津軽警備保障提供

喫煙しない職場環境づくりを実践!。津軽警備保障(青森県弘前市)の山口道子社長

は12月6日、生命保険会社主催のオンラインセミナーで自社の「健康経営」について説明した。14年にわたりて職場での禁煙を推進し、社員10人で喫煙者がゼロとなるまでの取り組みを語った。

「社員が心身ともに健康であること」を経営理念に掲げ、社員が60人ほどだった2007年から禁煙を推奨してきた。14年に社屋内を、16年に会社敷地内を、17年に就業時間内を、それぞれ禁煙とした。20年からは「禁煙外来」の費用を補助して後押しした。

喫煙する社員は、16年までは約半数を占めていたが年々減少し、19年には3割弱になった。21年3月に14人となつた後、全員が禁煙に成功。11月1日に企業ホームページで「社員の喫煙者ゼロ宣言」を行った。

山口社長は「全社員が納得してのスタートではなかったと思うが、皆さんの理解を得て達成できました。禁煙は時代の流れであり企業イメージの向上にもつながると思います」と話した。

社員からは「社長が社員の健康管理に真剣に取り組んでいると感じて、喫煙の習慣をやめました」などの感想が寄せられた。

同社は、インフルエンザ予防接種の費用負担や一次検診の受診率100%を継続し、健康経営優良法人・中小規模法人部門の上位「グライト500」に認定されている。